

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.18 2025.6

ホームページ：<https://www.mics.ne.jp/~ono511/senior.htm>

イベント報告

岡崎東公園常設コース開設 52 周年記念大会 参加記

内藤ヒロオ

ボケ連発でした

5月に3回大会に参加したのですが大きなミスがなかったのは1回だけで他は悲惨な結果に終わりました。その報告です。

4日の中総公園大会、これは良い出来でした。翌5日の昭和の森大会、これが超悲惨なことになり、マップ外を迷走(マップ内もかなり迷走)して、ペナ3でした。

その原因は色々あるのですが、大きなのは縮尺の勘違い。この大会は2005年の世界選手権大会のEクラスのスプリントのコースを再現したものでした。スプリント種目なので縮尺は5千分の1です。そのことは一応要項で見てはいたのですが特に意識してはいませんでした。

で、競技中に「縮尺はなんだったっけ」と思ったときに、地図の細かさとエリート向けの地図だということから「ああ、1万5千分の1だな」と思い込んでしまいました。いえ本当に等高線の細さはマジ1万5千に見えました。まあ、いつも縮尺なんかあまり気にせずにやってるんですが、それでも3倍の違いは影響したかもです。それでも最後まで勘違いに気付かずにやっていましたからやはりいい加減なものです。

そして2週間後の18日にあった東公園のスコアの大会。この大会の競技時間は1時間でした。そのことはちゃんと頭に入れてありました。私はスコアとかロゲインとかは半分以上の大会で競技

時間オーバーをしてるんですね。間に合うつもりで戻り出すんですけど自分で思ってる以上に体がバテて想定スピードで走れなくて遅刻しちゃうんです。それで今回こそは時間を余らせても良いから時間内に戻るぞと考えてました。

で、競技開始。近いポイントに向かいながら回るルートを考えてみて「こりゃあ、近いところからどんどん取って行って戻るべき時間が来たらゴールにまっしぐらに帰る作戦でいこう」と決めました。

前半は時間とか気にせずにポイントを取っていききました。ある程度時間が経ったところで、「競技時間は何時までだったっけ?」と考えました。

「12時半だったっけ。1時だったっけ?」と。正解は12時でした。私がこんなことを考えていたのは11時45分頃でしたから本当はここで戻り出すべきでした。でも、まだまだ序盤だという感覚だった私は「1時までという可能性もあるけど、今回は遅刻したくないから安全策をとって12時半のつもりでやろう」、「よし、戻りに30分かかるとして12時までには回れるだけ回ろう」と決めました。

12時少し前、もう一つ取りに行くのはきつそうなところで潔く切り上げて戻り出しました。ゴールしたのは12時17分。ゴール付近には私以外の選手がいませんでした。「13分も早かったのだからそれでかな? ひょっとしたらもう30分やれた

のかな？」なんて考えながら会場に戻ってカードを読んでもらった「18分オーバーで1800点の減点です」って。

地図に競技時間が書いてあればこんなミスもしなかったのかもしれませんが、それにしてもひどいボケですよ。競技が始まったら「競技時間は1時間」というのがどっかに消えちゃったんですね。

悪銭苦闘の2日間

6月21日(土) サマーオリエンテーリング 新城市 作手高原

登りに悪戦苦闘

エントリー時に2つのミスをしてしまいました。一つは地図の縮尺の指定。縮尺は1:15,000と1:10,000があることは知っていましたが、当日、自由に選択できると思いましたが、エントリー時に指定することになっていないと思っていなかった。当日事前指定であることを知り、おそらく20年ぶりぐらいに1:15,000でやることになりました。最初に地図を手にして、大きな地形の流れすら読み取れないことにびっくりしました。2番目はコース距離。今までの思い込みからロング、ミドル、ショート3コースならミドルが最適で、多くのベテランオリエンティアもこれを選択するであろうと思っていました。しかしエントリーリストをみると多くのベテランオリエンティアがショートを選択していました。プログラムを見ると、ミドルは5.2km 登り320m。これは高齢者にとってはロングレベル。ショートは3.5km 登り220m。これでは私より一回り以上若い人でもショートを選択するはずだ。これも要項をよく読んでいなかった結果である。

前半は通行可能度もよく、走ったり、歩いたりしてこなした。

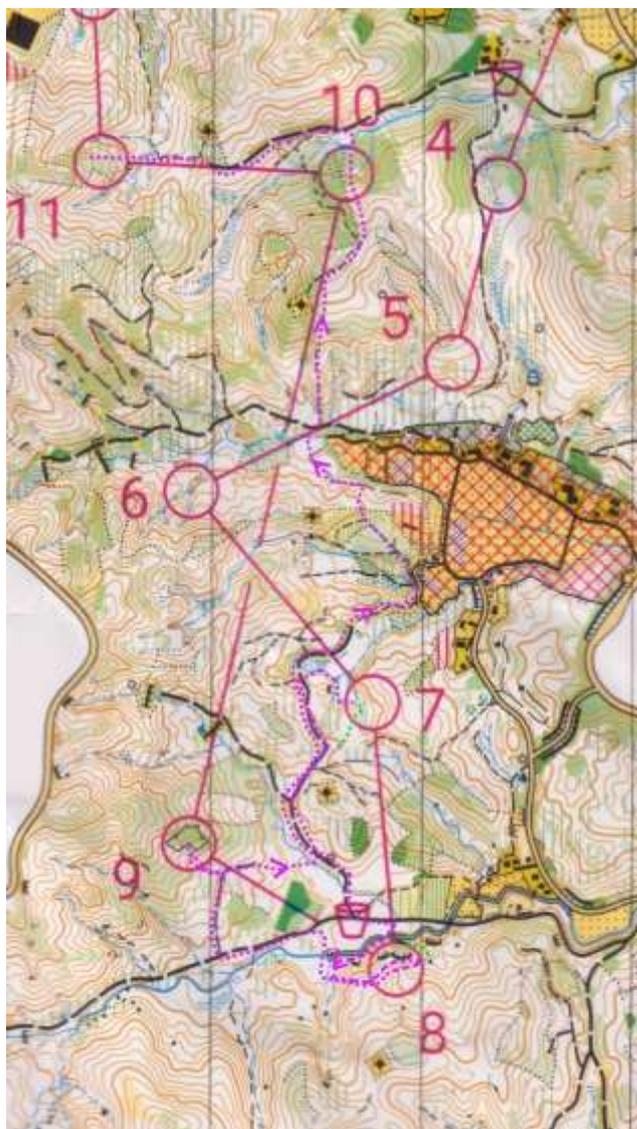
7番から11番の自分のルートをパープルの点線で、こうすればよかったのを緑色の破線で示してある。7番8番の沢はゴマ粒のような小さい沢であり、コンパスのルーペで拡大してもよく確認できず、大きな尾根や川から判断した。特に8番はガケの南側に沢があり、その中に目指す小さな沢があると見えず、ガケの上にガケに向かって下る沢とみて

昭和の森大会の時も競技が始まったら「縮尺は5千分の1」というのを忘れちゃってたしね。

まあ、こんなボケが競技中にどの程度出てくるかをチェックするのが最近の大会参加の目的の一つなので、ボケが出ると嬉しかったりもします。ヤバイですかね。

小野盛光

いた。



ということで、東から攻めればすこしは楽に登れたものを、西から登って体力を消耗した。9番も上り、10番は道回りを何度か検討したが、距離的に長く、

苦しいものの尾根のぼりが最短時間ルートを判断した。11番は溝はすぐ見つかるものの、溝の端まで遠く。ここも上りでグロッキー。

すべて順序ただしく回ったものの、悪戦苦闘のレースだった。

私の知っている中高年参加者の所要タイム

Mコース 5.2km ↑320m

- ②羽柴 公貴 1:22:46
- ④宮崎 敦司 1:28:45
- ⑥鶴飼 須彦 1:36:51
- ⑨角岡 明 1:40:06
- ⑭上島 乃英 1:50:59
- ⑱鹿野 勘次 2:10:16
- ⑳小野 盛光 2:18:51

- ㉔前田 春正 3:13:06
- 佐藤 政明 DISQ

Sコース 3.5 km ↑220m

- ⑤桑山 朋巳 1:31:21
- ⑥加藤 昭治 1:57:32
- ⑦桑野 真弓 1:59:09
- ⑧内藤ヒロオ 2:11:00
- ⑨三井 由美 2:15:05
- ⑪長瀬 朋子 3:00:07

年齢やSコースと比較するとまあまあ

6月22日(日) 百年公園トレーニングイベント 関市 岐阜県百年公園 グリーンに悪戦苦闘

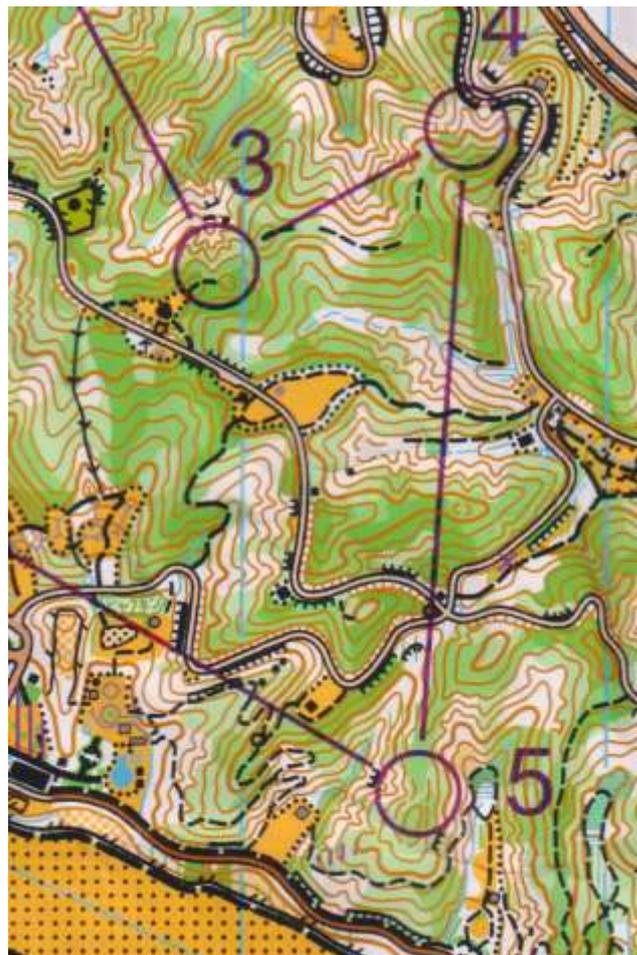
走り出してみると、前日の疲れが残っていて、走る力がでない。1番は沢で、鞍部からのぞけば見えるかと思ったが、予想以上に下。2番はやさしく設定してあったが、3番付近の尾根が地図表記通り見通しがきかず、コントロールのあるはずの沢が見通せない。うろうろしつつ、偶然に見つけた少し見通しがきくヤブの中にコントロールを見つける。これも予想以上に下方。4番へは進みにくい尾根たどりが安全とヤブを漕ぎながら進む。5番はコントロール北の道の交点から尾根に入るのが堅実と、尾根の斜面をコンタリング気味に進み尾根に出て、進。6番へは様々なルートが考えられたが、堅実な道の交点に戻るルートを選択、またヤブを漕ぐ。さらに起伏が激しく、苔の被った道は滑りやすく、苦難の連億であった。

私の知っている中高年参加者の所要タイム

Mコース 3km ↑170m

- ⑧ 小野 盛光 1:17:54
- 坂本 清光 DISQ

17名参加だったのでまあまあ。



夏はマダニに注意

マダニのトラブルについて

以前に岡崎東公園北駐車場の隣の林で、東海の学生がマダニにやられたと騒いでいたことがありました。

まさか自分になるとは思ってもいませんでしたが、4～5年程前に左足のふくらはぎの上部(くるぶしの下) 辺りをやられました・・・ふくらはぎの下部は靴下を履いているために防げたのだらうと思います。

痛い痒いの当時の状況は、今は全く覚えていません。蚊に喰われた後の腫れと違って、マダニの喰いついた腫れあがりとは異常に盛り上がっていて(実は半分程度潜り込んでいる状態でした)、知立の医者に行きました。

直ぐにピンセットのような器具でつまみとられ、これがマダニだと見せてくれました。

お医者さんが云われるには、「素人が行くと胴体部分半分は取れても、頭や足の一部がちぎれて取れずに体内に残ることがあるので、医者で治療してもらうのが一番」と言われました。

防御の対策としてはズボンの裾を閉じることでしょいか・・・昔、兵隊さんが足にゲートルを巻いていましたが、このスタイルでしょうか。

後はズボンに着いたゴミ等をよく払い落とすようにする事が良いかとお思います。(記：永井)

永井さんのマダニ被害についての実体験 7

1回目 令和2年10月

<http://www.katch.ne.jp/~n-nagai/od10nik.files/old34.htm>

2回目 令和3年3月

<http://www.katch.ne.jp/~n-nagai/od10nik.files/old39.htm>

